

さやえんどう

農薬取締法上、「さやえんどう」は「実えんどう」や「えんどうまめ」とは別の作物である。(実えんどうの項目参照)

「さやえんどう」には、「さやえんどう」か「豆類(未成熟)」または「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

—— 発病・加害時期
 == 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋まき						収穫					● ● は種	
苗立枯病(リゾクトニア菌)											==	==
褐斑病				——	——	——						
うどんこ病				——	——	——						
アブラムシ類			——	——	——	——						——
ナモグリバエ			——	——	——	——					——	

苗立枯病

留意事項

- 1 バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤は、リゾクトニア菌に有効である。

防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 本ぼを土壤消毒する。(XⅢ土壤消毒2(4)参照)
 - ・ [バスアミド微粒剤](#) 劇、[ガスタード微粒剤](#) 劇
 - 【リゾクトニア菌 20~30kg/10a は種または定植21日前/1回】

褐斑病

留意事項

- 1 QoI剤 () は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 被害株は早めに取り除き、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 密植を避け、通風を良くする。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) 【2,000倍 前日/3回】
 - ・ [スクレアフロアブル](#) 【2,000倍 前日/3回】

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

うどんこ病

留意事項

- 1 薬剤耐性菌が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 密植を避け、通風を良くする。
- 2 窒素質肥料の過用を避け、リン酸・カリ肥料を十分施用する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [サンヨール](#) — 【500倍 前日／4回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トリフミン水和剤](#) 3 【3,000～5,000倍 前日／5回】
 - ・ [サプロール乳剤](#) 3 【1,500倍 前日／3回】

ウイルス病

留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 生育初期にアブラムシ類の防除に努める。

防除方法

- 1 健全種子を用いる。
- 2 子葉展開時から有翅アブラムシ類の防除に努める。【アブラムシ類の項参照】
- 3 除草を徹底する。

アブラムシ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 2 スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は3回以内（但し、株元散布は1回以内、散布は2回以内）。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4 A 【4,000倍 前日／3回】
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A 【2,000倍 前日／2回】
 - ・ [マラソン乳剤](#) 1 B 【豆類(未成熟) 2,000～3,000倍 7日／3回】
 - ・ [ウララDF](#) 2 9 【2,000～4,000倍 前日／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

ナモグリバエ

留意事項

- 1 防除開始適期は3月上旬である。
- 2 パダンSG水溶剤は、眼に刺激性があるので眼に入らないように注意する。
- 3 スタークル粒剤、アルバリン粒剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は3回以内（但し、株元散布は1回以内、散布は2回以内）。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) 4 A
【ハモグリバエ類 9kg/10a 株元散布 生育期（14日）/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を10日間隔で2～3回散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【3,000倍 前日/3回】
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 1 4 【1,500～3,000倍 前日/3回】
 - ・ [アフーム乳剤](#) 6
【豆類（未成熟 除さやいんげん）ハモグリバエ類 2,000倍 3日/2回】
 - ・ [ハチハチフロアブル](#) 劇 2 1 A 【1,000～2,000倍 前日/2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。